

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2018年8月10日

1. 市場環境

米国政権の保護主義的政策への懸念は残るものの、世界経済は総じて好調に推移
依然好調な先進国の設備投資需要に加え、中国、アジア地域も堅調

2. 2019年3月期 第1四半期業績

グローバルでの旺盛な需要を捉え、グループ全体で増収、増益

売上高	13,441百万円	(前年同期比	+12.8%)
営業利益	992百万円	(前年同期比	+84.4%)
当期純利益※	519百万円	(前年同期比	+33.6%)

※親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レート 平均レート 1ドル = 109.1円

3. 総括

- (1) 良好な外部環境の下、インフラ整備、天然資源、民間設備投資とも受注は好調
- (2) 昨年度より続く旺盛な需要を捉えるべく、増産体制を継続
- (3) 為替水準、資材費、米通商政策など外部環境リスクは引き続き注視

1

2019年3月期 第1四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2019年3月期 第1四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2018/3期 Q1 累計 (4~6月)	2019/3期 Q1 累計 (4~6月)	前期比
売上高	11,919	13,441	12.8%
営業利益 (営業利益率)	538 (4.5%)	992 (7.4%)	84.4%
営業外収益	39	58	
営業外費用 ※1	225	209	
経常利益 (経常利益率)	351 (3.0%)	814 (6.1%)	131.5%
法人税等	※2 △55	260	
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	388 (3.3%)	519 (3.9%)	33.6%
EBITDA =営業利益+償却費	1,095	1,653	

注 為替レート (2018/3期Q1→2019/3期Q1) :

USD 111.1円 → 109.1円 CAD 82.6円 → 84.5円 EUR 122.2円 → 130.1円 RMB 16.6円 → 17.1円

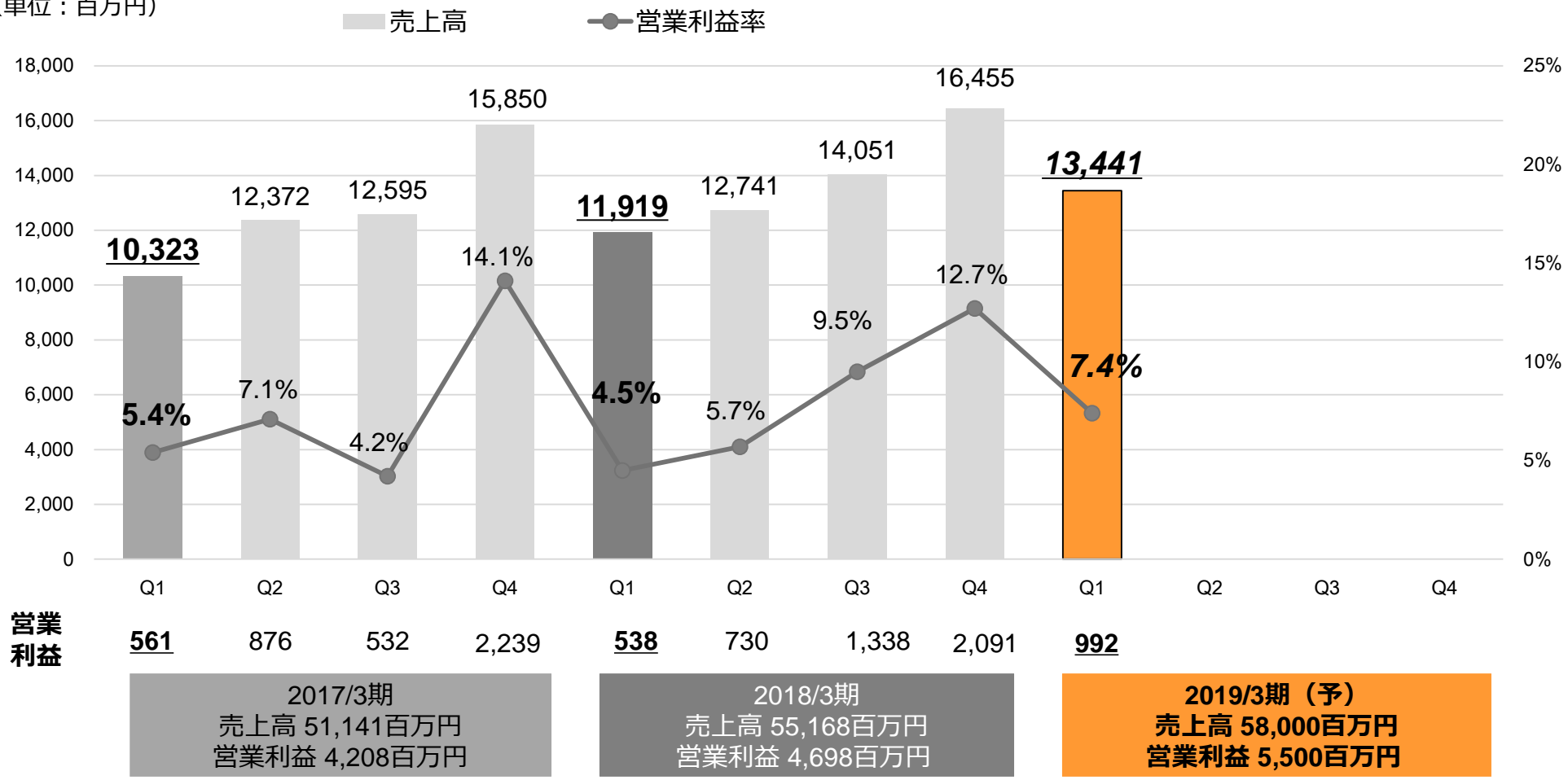
※1 非連結のイタリア子会社収支91百万円 (2018/3期)、34百万円 (2019/3期) を持分法による投資損失として計上

※2 前期未実現利益に係わる税効果の影響△193

売上高および営業利益率（四半期比較）

グローバルでの好調な需要を捉え増収増益、増産体制を継続

(単位：百万円)



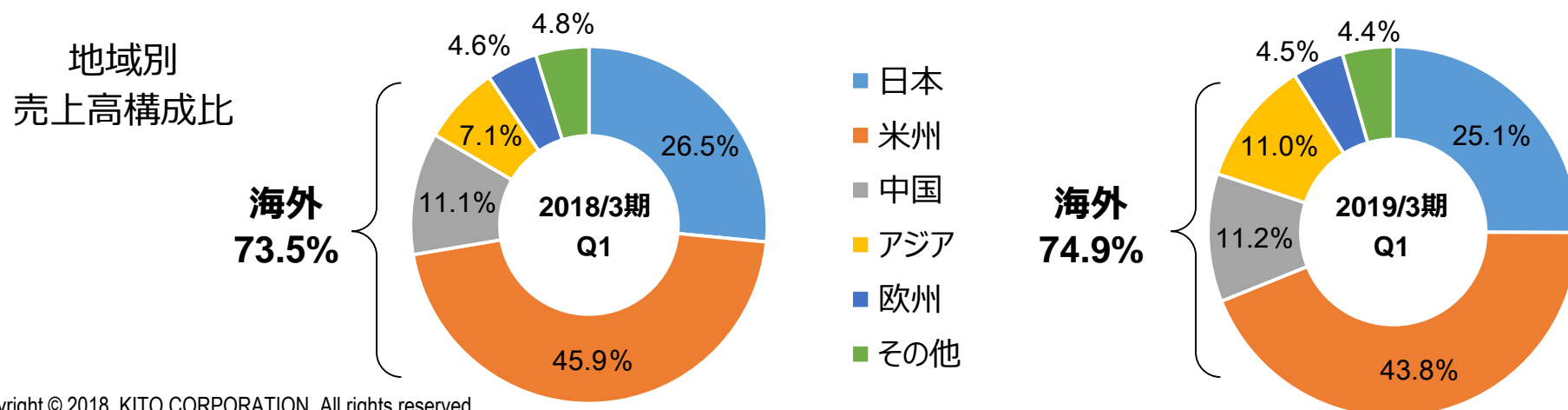
地域別の状況

地域分散された事業ポートフォリオを展開、グローバルで増収

(単位：百万円)	2017/3期 Q1		2018/3期 Q1		2019/3期 Q1		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	10,323	100.0%	11,919	100.0%	13,441	100.0%	1,521	12.8%
日本	2,748	26.6%	3,163	26.5%	3,367	25.1%	204	6.5%
米州	5,246	50.8%	5,466	45.9%	5,894	43.8%	428	7.8%
中国	1,199	11.6%	1,323	11.1%	1,501	11.2%	178	13.5%
アジア	685	6.6%	848	7.1%	1,475	11.0%	626	73.9%
欧州	313	3.0%	542	4.6%	606	4.5%	63	11.7%
その他地域	129	1.3%	575	4.8%	596	4.4%	20	3.6%

注 為替レート(2018/3期Q1→2019/3期Q1)：

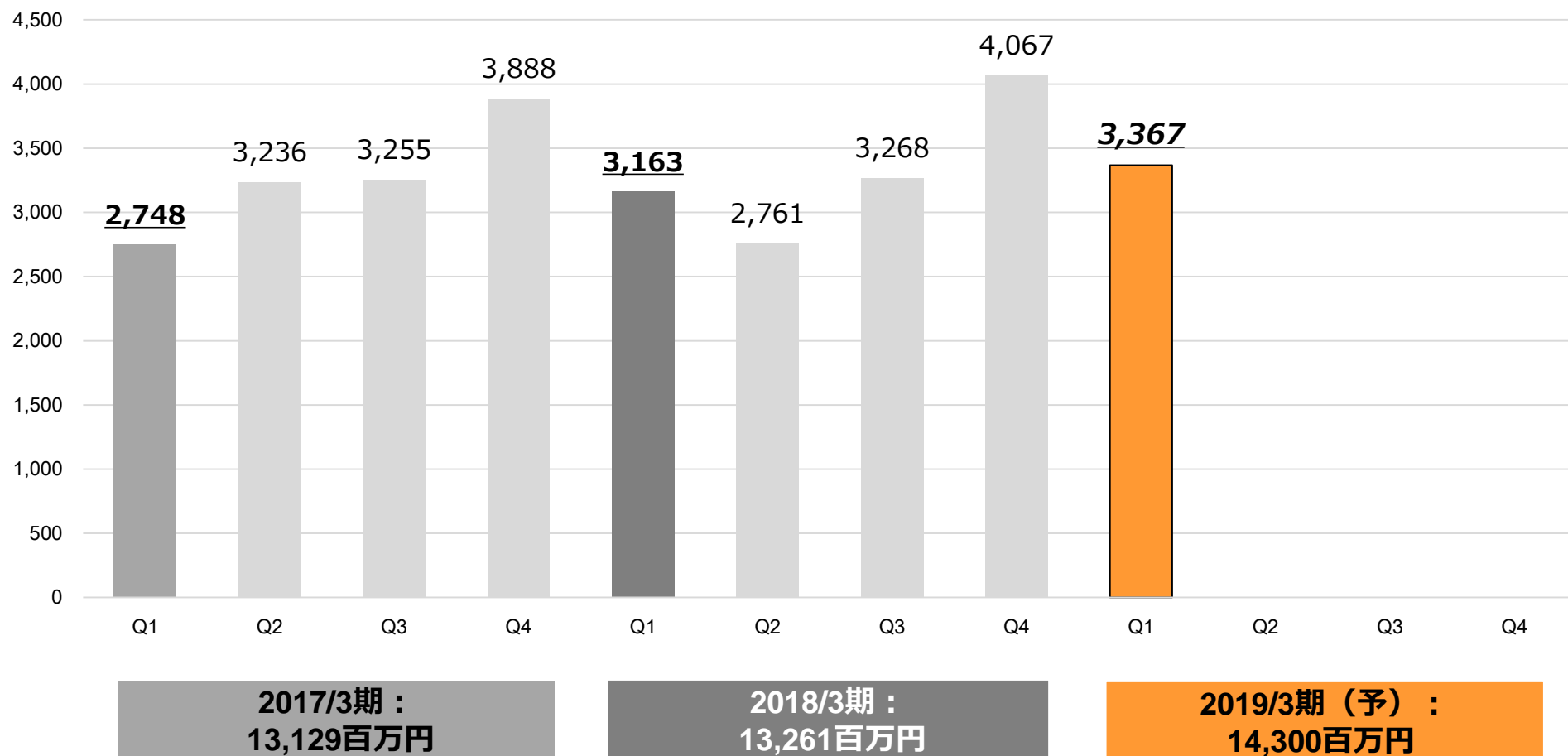
USD 111.1円 → 109.1円 CAD 82.6円 → 84.5円 EUR 122.2円 → 130.1円 RMB 16.6円 → 17.1円



地域別売上高（日本）

- インフラ関連及び民間設備投資共に、旺盛な需要が継続

（単位：百万円）

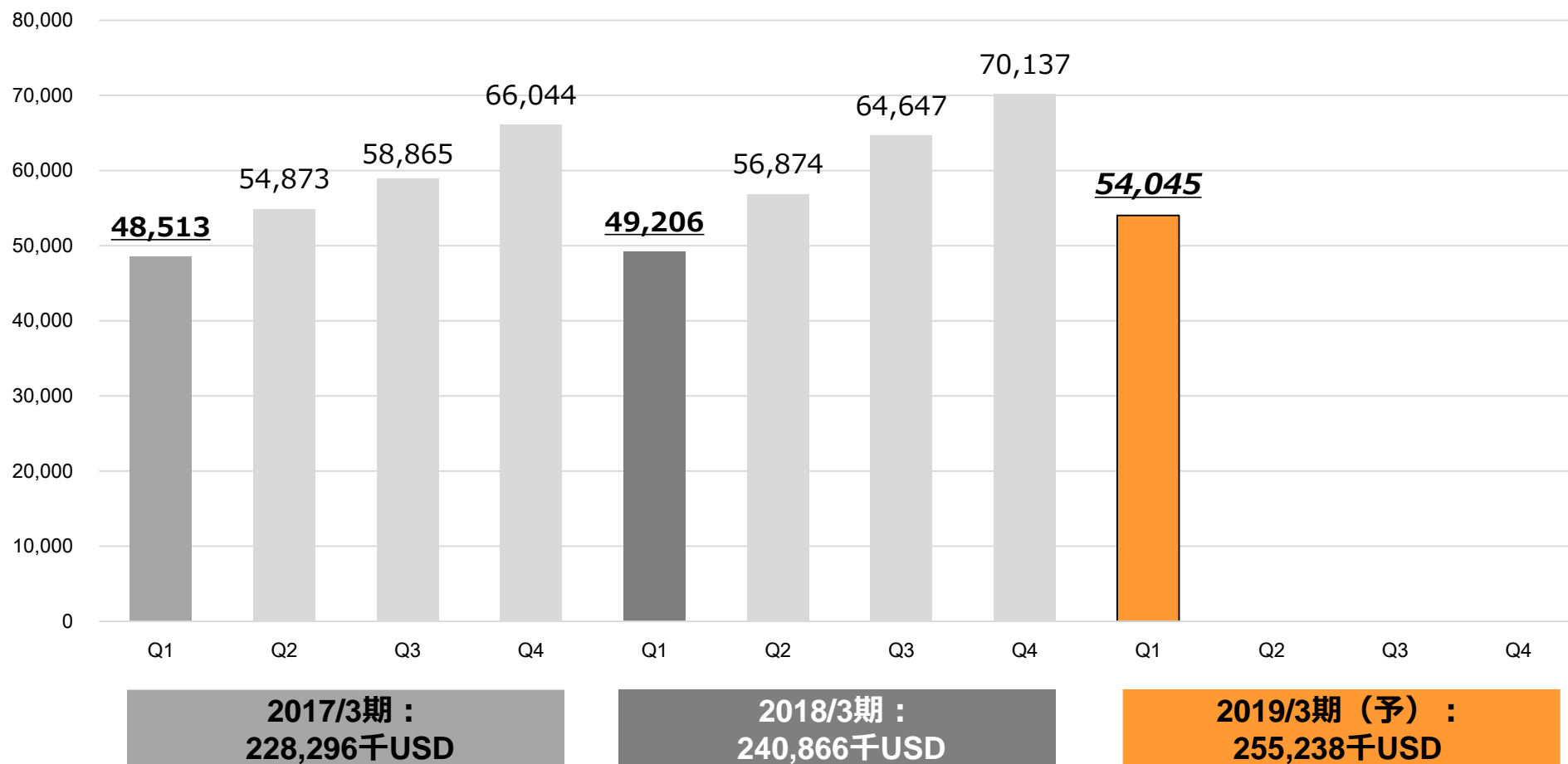


地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

- 製造業の設備投資、インフラ関連、資源関連需要とも好調に推移
- 保護主義的政策に係る資材費の高騰を懸念

（単位：千USD）

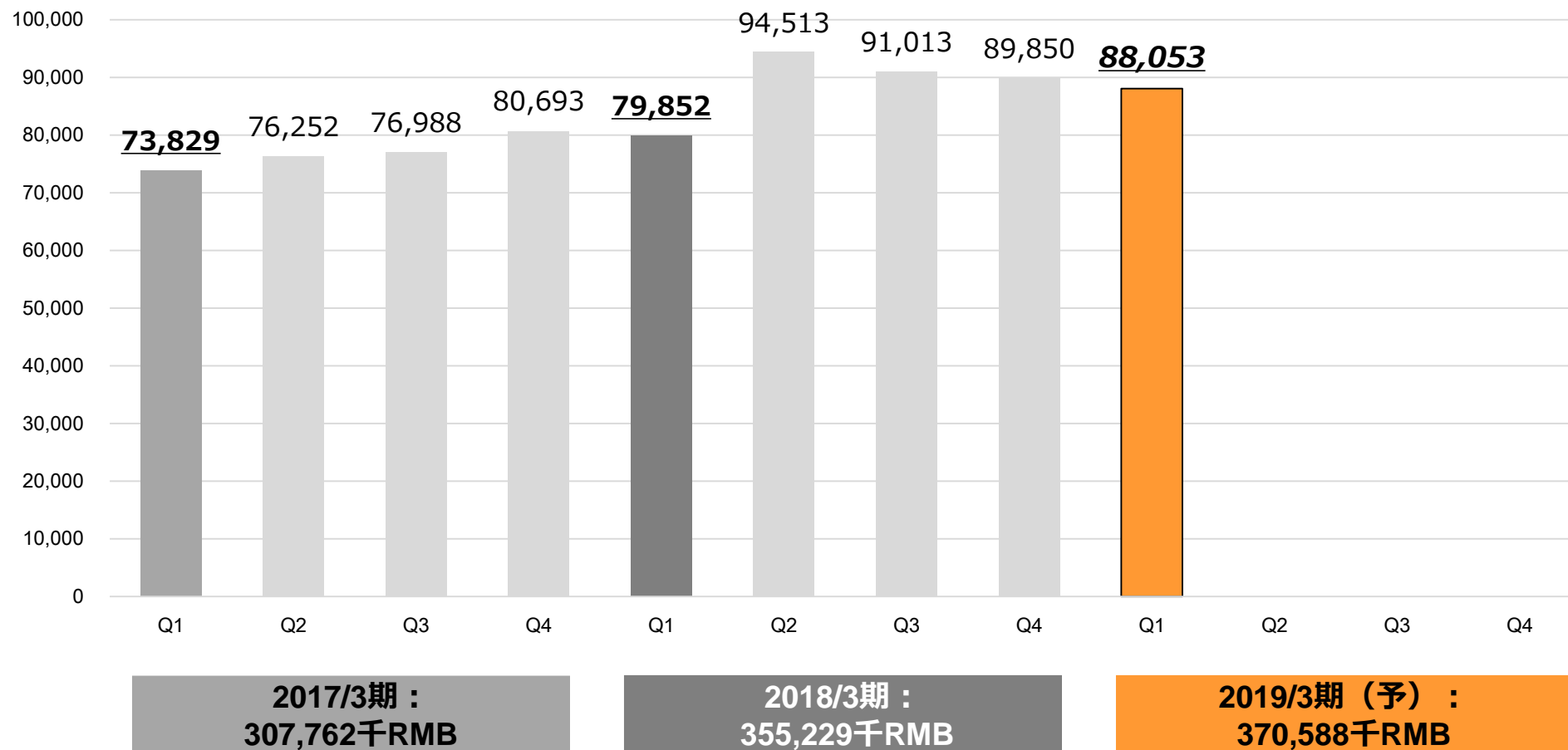


地域別売上高（中国）

※中国は1-12月決算

- 自動車、半導体等、成長産業の設備投資需要が牽引

（単位：千RMB）

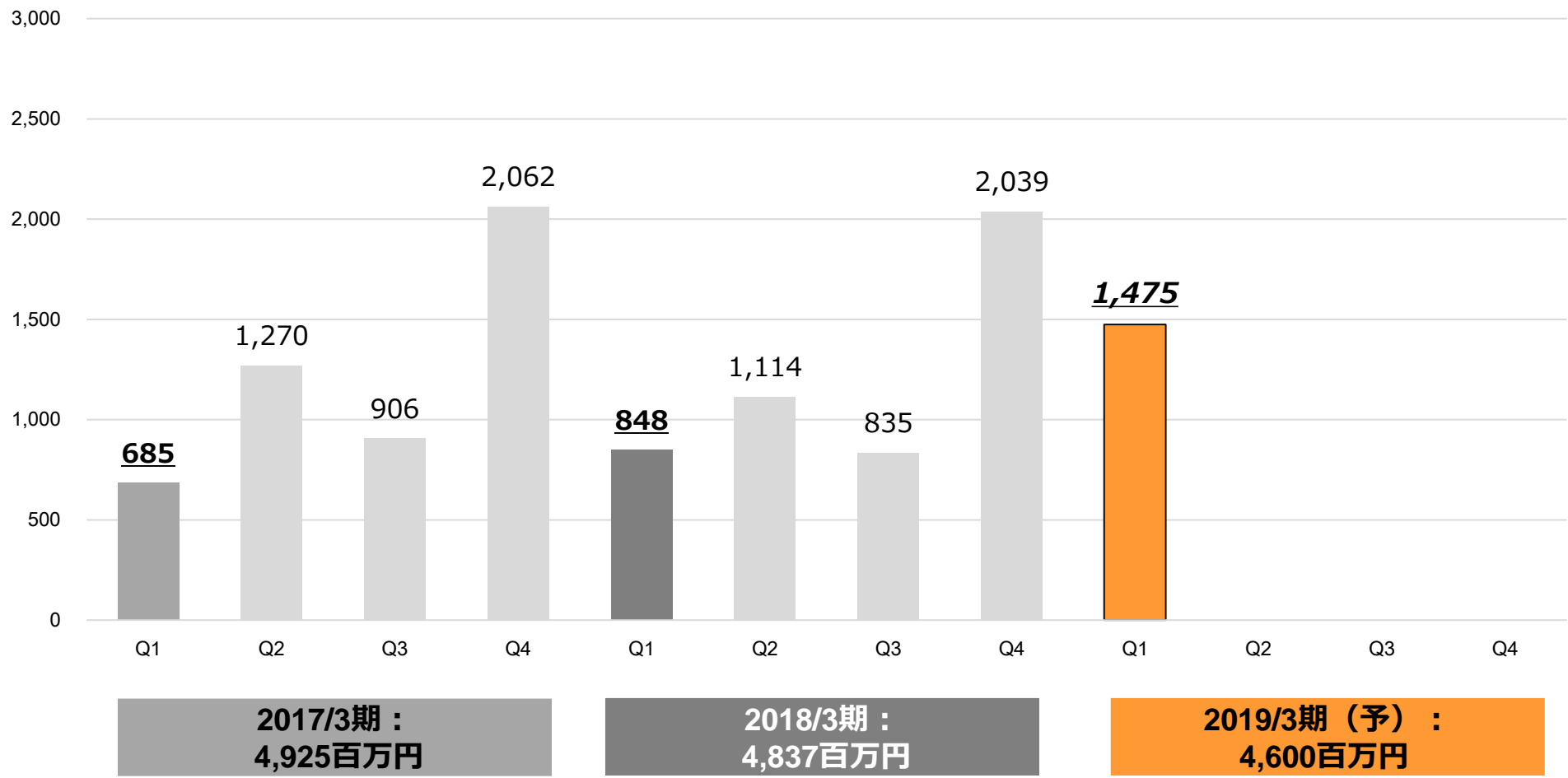


地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国は1-12月決算

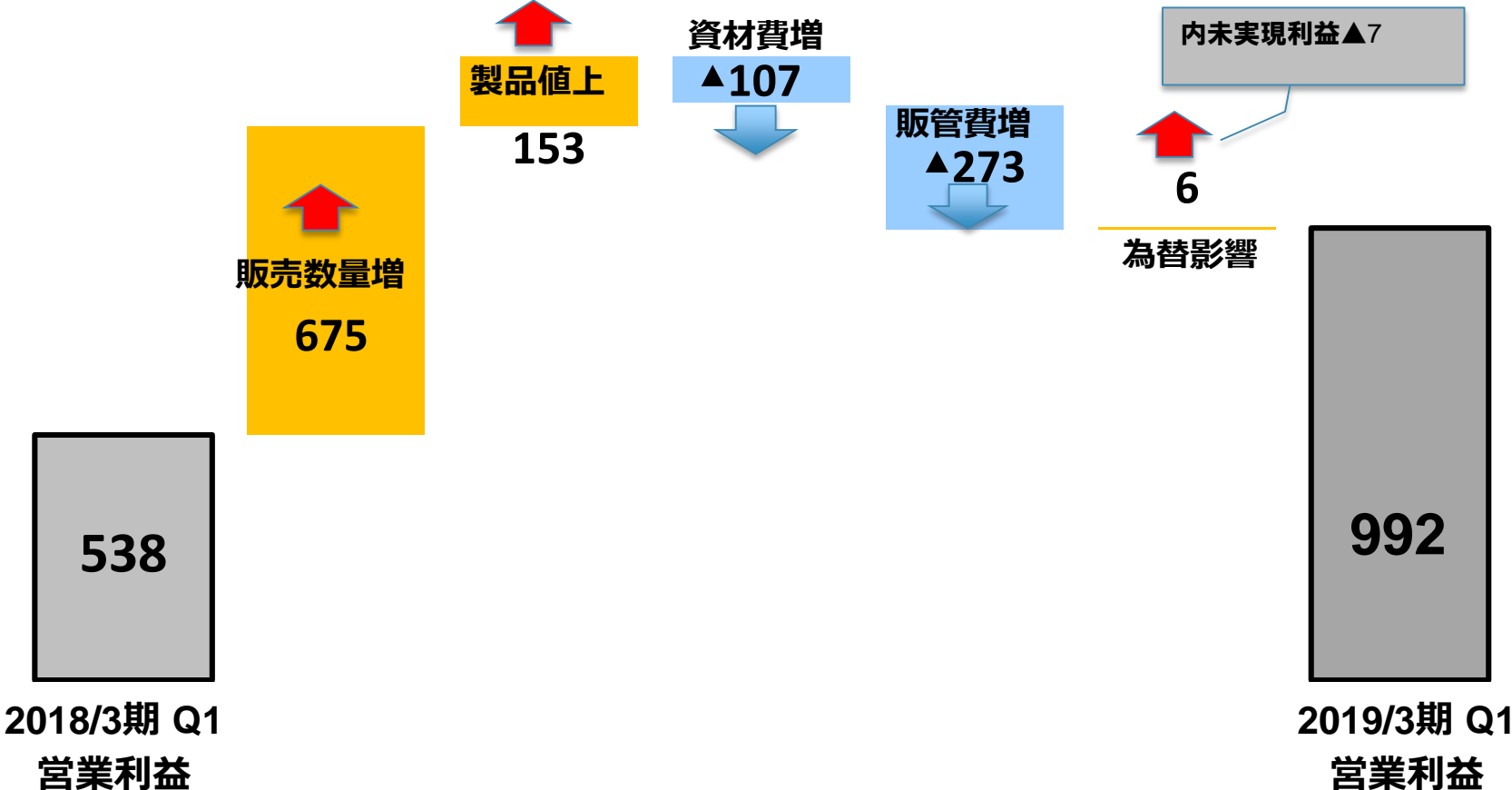
- アジア全体での旺盛な需要を捉える
- 昨年来の大型プロジェクト案件（韓国）の売上が寄与

（単位：百万円）



営業利益の比較

(単位：百万円)



2019/3期 Q1 連結貸借対照表

単位：百万円	2018/3期 期末	2019/3期 Q1	増減額
流動資産	38,975	37,122	▲1,853
現金・預金	10,780	9,378	▲1,402
受取手形及び 売掛金	11,447	10,467	▲979
たな卸資産	15,503	16,225	721
その他	1,243	1,050	▲192
固定資産	22,879	22,618	▲260
有形固定資産	11,549	11,210	▲338
無形固定資産	6,841	6,896	54
投資その他資産	4,488	4,511	22
資産合計	61,854	59,740	▲2,114

単位：百万円	2018/3期 期末	2019/3期 Q1	増減額
流動負債	18,616	16,825	▲1,791
支払手形及び 買掛金	6,143	6,563	420
短期借入金 ※	5,719	5,929	210
その他	6,753	4,331	▲2,421
固定負債	19,541	19,023	▲517
長期借入金	15,731	15,391	▲339
その他	3,810	3,631	▲178
純資産合計	23,697	23,891	194
負債純資産合計	61,854	59,740	▲2,114

※1年内返済予定の長期借入金を含む

1

2019年3月期 第1四半期 決算報告

2

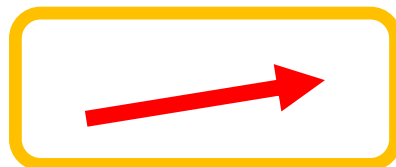
2019年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

日 本



市場環境

- 民間設備投資が継続し、持続的な成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

- 新基幹システムの安定運用。需要増に応えるべく増産を継続
- 新製品の導入、品揃え拡大を継続、クレーンビルダーとの連携強化

米 州



市場環境

- 需要は幅広い産業での底堅い推移を見込む
- インフラ関連投資、エネルギー関連産業に期待

取り組み

- 納期短縮、質の高いサービスによる顧客満足度向上
- 製品品揃えを拡充し、顧客を取り込む

2019年3月期の見通し

中 国



市場環境

- EV・半導体・ロボット産業の設備投資需要が好調
- 政府の環境対策への対応

取り組み

- 好調業種の設備投資需要を捉え、販売拡大を図る
- コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



市場環境

- 設備投資は回復の兆し

取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 事業効率化による利益改善策を継続

欧 州



市場環境

- 幅広い産業での緩やかな需要拡大を見込む

取り組み

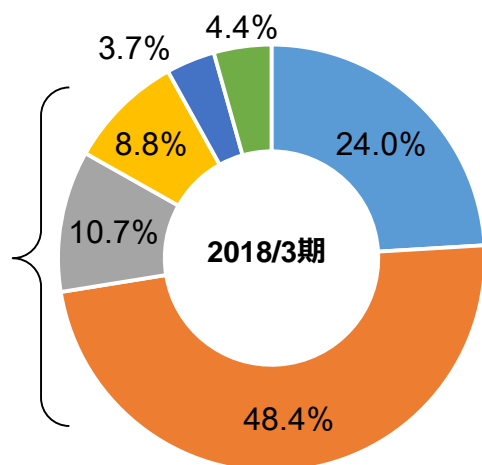
- 子会社、関連会社との相乗効果拡大、さらなる市場の開拓

2019年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2018/3期		2019/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	55,168	100.0%	58,000	100.0%	2,832	5.1%
日本	13,261	24.0%	14,300	24.7%	1,039	7.8%
米州	26,700	48.4%	26,800	46.2%	100	0.4%
中国	5,903	10.7%	6,300	10.9%	396	6.7%
アジア	4,837	8.8%	4,600	7.9%	▲238	▲4.9%
欧州	2,060	3.7%	3,600	6.2%	1,540	74.8%
その他地域	2,404	4.4%	2,400	4.1%	▲5	▲0.2%

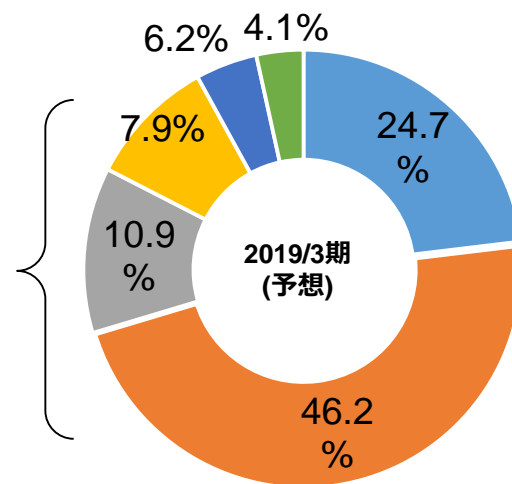
地域別
売上高構成比

海外
76.0%



- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他

海外
75.3%



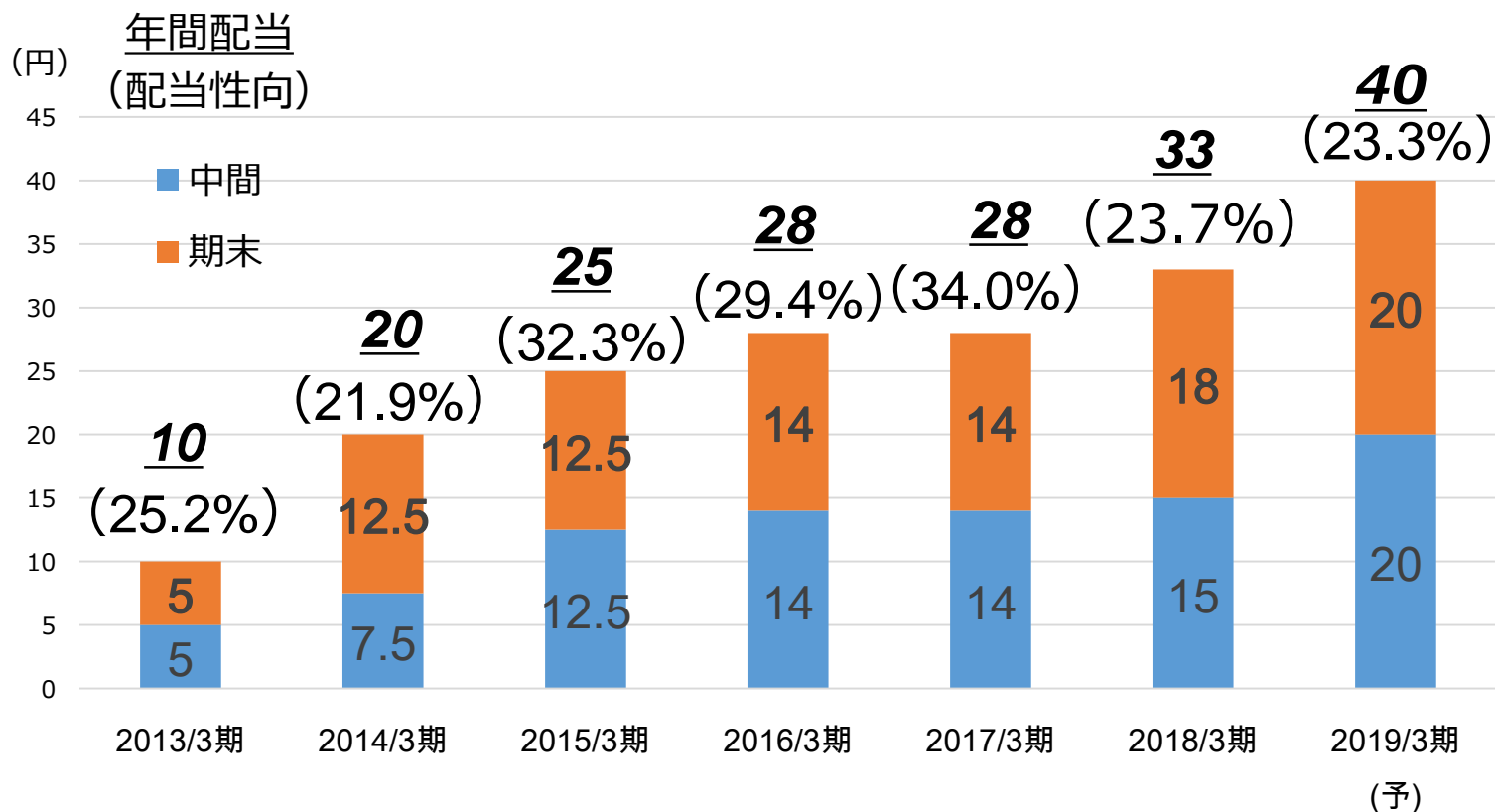
2019年3月期 業績予想

(単位 百万円)	2018/3期	2019/3期 (予想)	前期比
売上高	55,168	58,000	5.1%
営業利益 (営業利益率)	4,698 (8.5%)	5,500 (9.5%)	17.1%
経常利益 (経常利益率)	3,791 (6.9%)	5,100 (8.8%)	34.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	2,836 (5.1%)	3,500 (6.0%)	23.4%
EBITDA =営業利益+償却費	7,142	8,300	16.2%

注 為替レート (2018/3期→2019/3期) :

USD 110.9円 → 105.0円 CAD 86.5円 → 85.0円 EUR 129.7円 → 130.0円 RMB 16.6円 → 17.0円

配当性向20%以上を目処に 年間配当額 33円 から40円に増配予定



(注) 以下の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2019年3月期 第1四半期 決算報告

2

2019年3月期 見通し

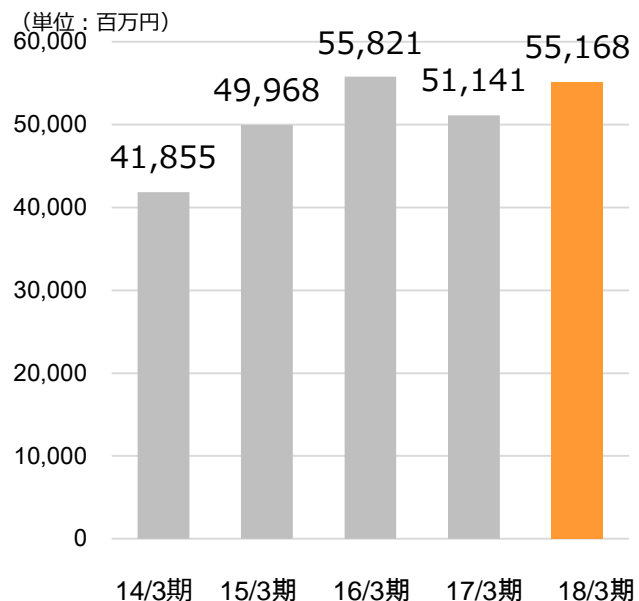
3

参考資料

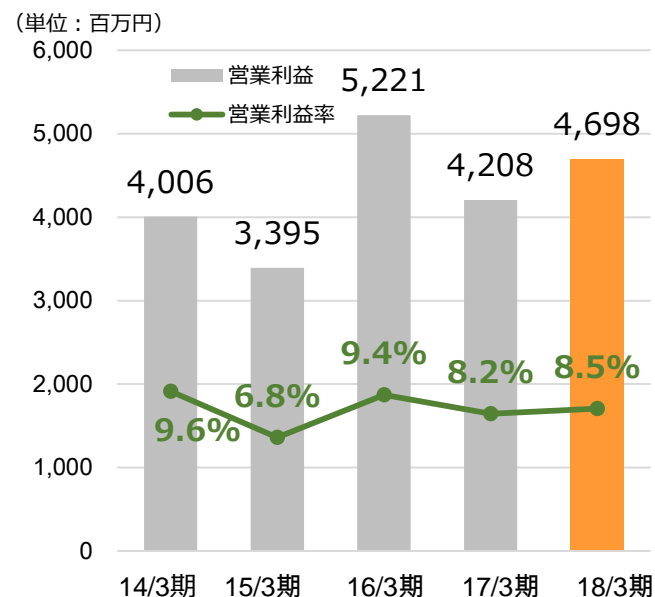
- 過去5期分の業績・財務情報（2014年3月期-2018年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

業績・財務情報

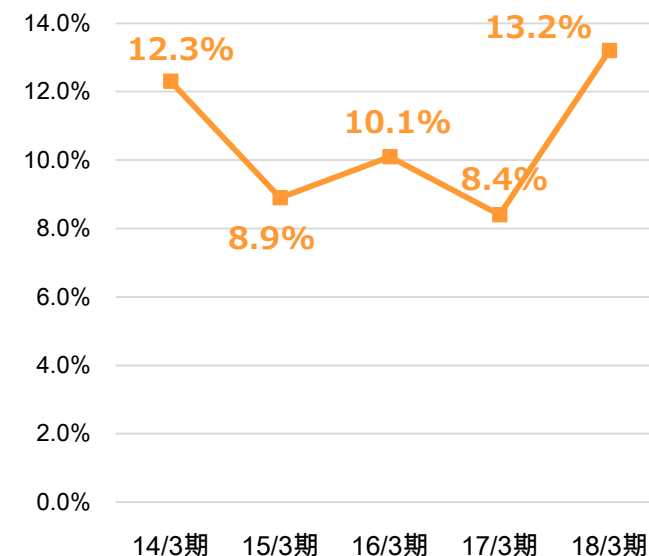
売上高



営業利益・営業利益率

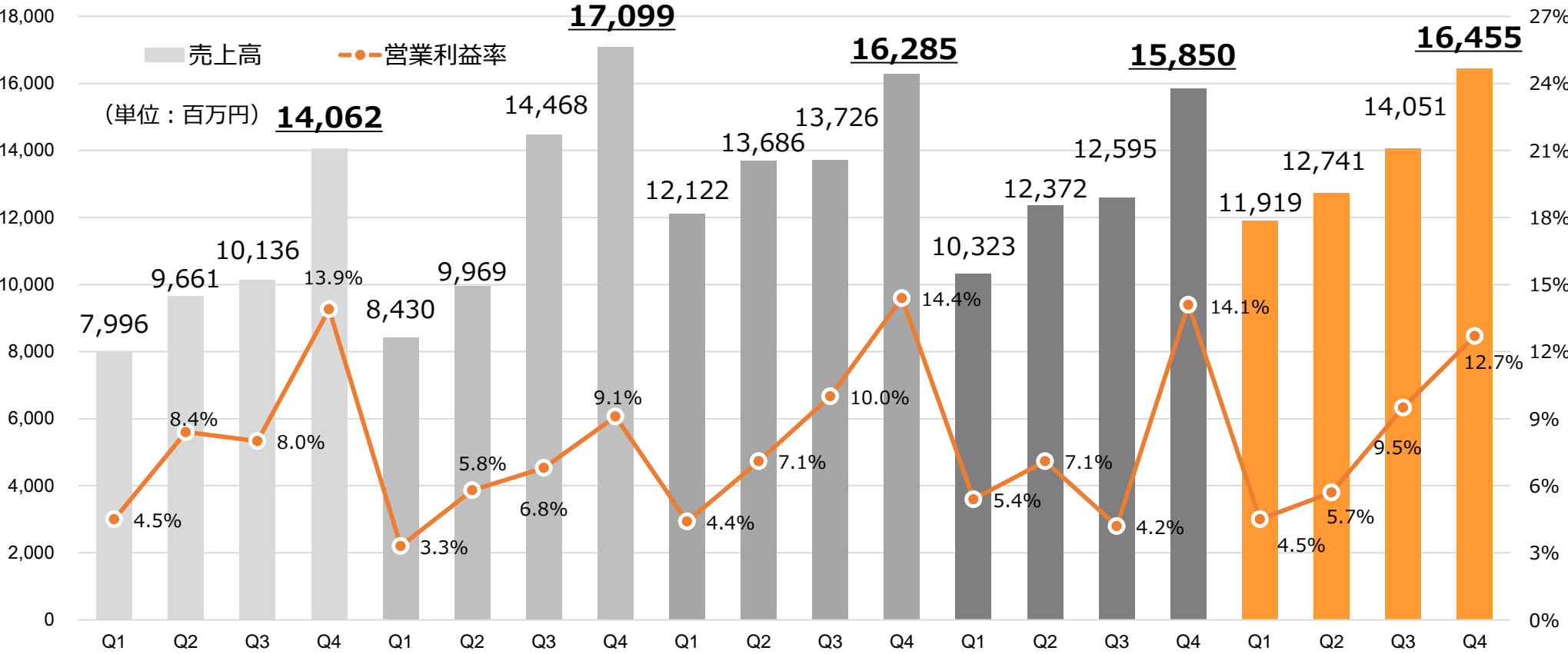


ROE



	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
海外比率	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%	76.0%
為替平均レート					
USD	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円	110.9円
CAD	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円	86.5円
EUR	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円	129.7円
RMB	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円	16.6円
設備投資額(百万円)	2,440	1,408	2,013	2,393	1,411
減価償却費(百万円)	954	1,311	1,814	1,792	2,116

売上高および営業利益率（四半期比較）

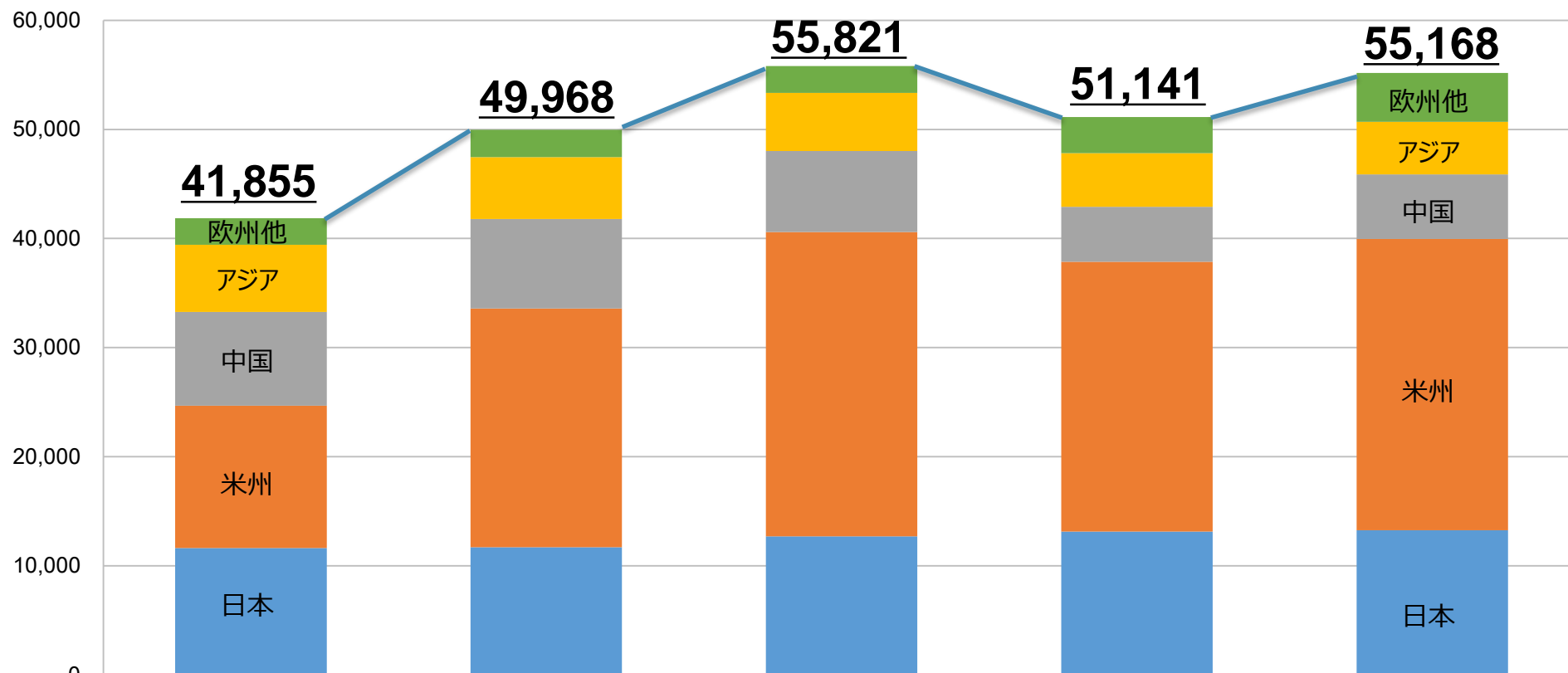


営業利益

360	806	809	2,030	280	575	987	1,553	538	966	1,371	2,345	561	876	532	2,239	538	730	1,338	2,091
2014/3期				2015/3期				2016/3期				2017/3期				2018/3期			
売上高 41,855百万円				売上高 49,968百万円				売上高 55,821百万円				売上高 51,141百万円				売上高 55,168百万円			
営業利益 4,006百万円				営業利益 3,395百万円				営業利益 5,221百万円				営業利益 4,208百万円				営業利益 4,698百万円			

地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期
■ 欧州他	2,424	2,500	2,479	3,308	4,465
■ アジア	6,168	5,676	5,321	4,925	4,837
■ 中国	8,604	8,198	7,418	5,034	5,903
■ 米州	13,034	21,888	27,909	24,742	26,700
■ 日本	11,625	11,702	12,692	13,129	13,261

中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。

経営目標

2021年3月期



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Goal

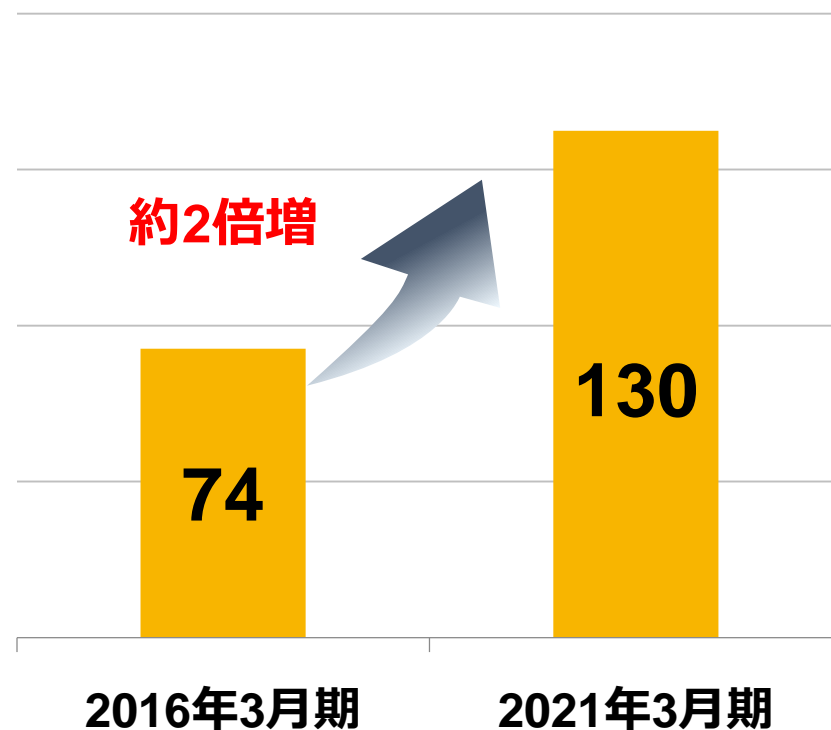
1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化

Financial Target

EBITDA



(単位：億円)

“Lifting Expectations”

